



令和 6 年度

# 中央卸売市場事業会計決算の概要

令和 7 年（2025 年）11 月

札幌市中央卸売市場

# 1 公営企業会計の特色

○公営企業会計の収支は収益的収支と資本的収支の2種類に区別されます。

## 【収益的収支】

- ・市場を運営するための日常的な活動による収支
- ・1年間の経営成績を表す

## 【資本的収支】

- ・施設の建設・改築及び設備更新にかかる収支
- ・収入と支出の効果が翌年度以降に及ぶ

## 2 収益的収支・・・経営の収支

区分	R6年度決算 ①	R6年度予算 ②	(単位：千円) 差引①-②
収益的収入 (A)	2,170,771	2,287,000	△116,229
営業収益	1,636,443	1,706,000	△69,557
営業外収益	534,328	581,000	△46,672
収益的支出 (B)	2,208,443	2,277,000	△68,557
営業費用	2,083,535	2,164,000	△80,465
営業外費用	85,671	108,000	△22,329
特別損失	39,237	0	39,237
予備費	0	5,000	△5,000
差引 (A)-(B)	△37,672	10,000	△47,672

### 【収益的収支】

収支は3,767万円の赤字となり、予算対比では4,767万円の悪化。

#### ○収益的収入

施設使用料等の減による営業収益の減少により、収入は予算対比で1億1,623万円減少した。

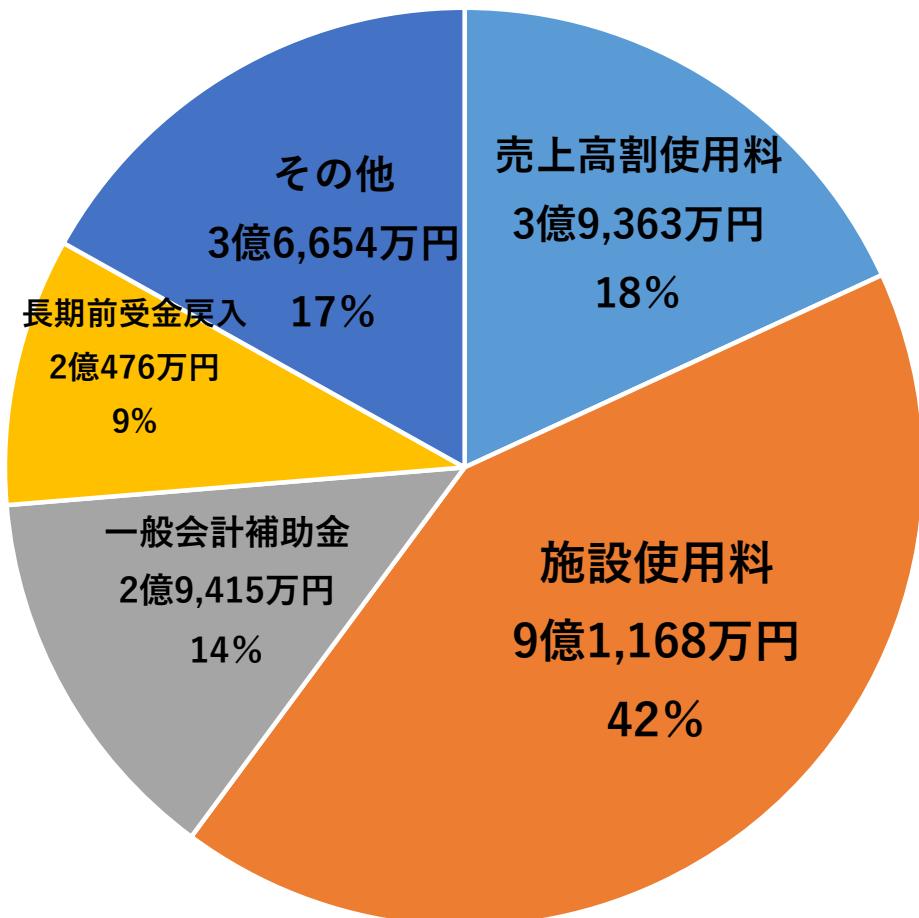
#### ○収益的支出

委託料や修繕費等の減による営業費用の減少により、支出は予算対比で6,856万円減少した。

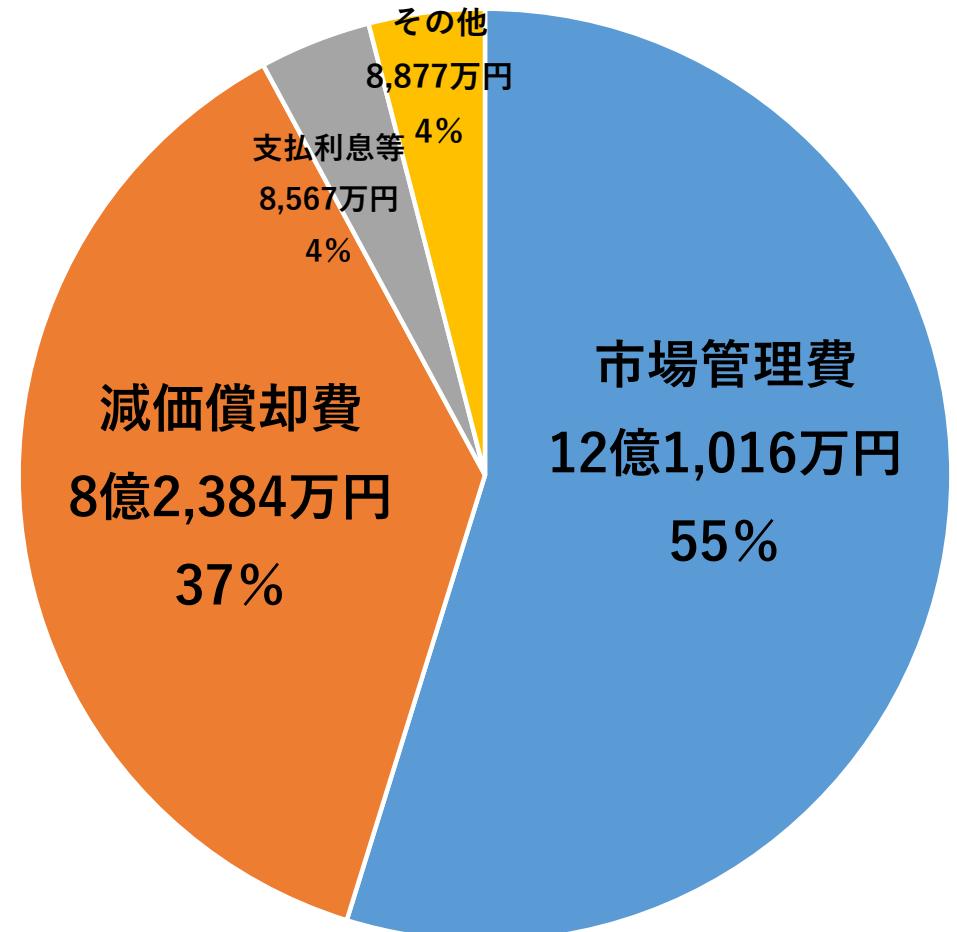
端数の関係上、合計は一致しないことがあります。

## 2 収益的収支・・・経営の収支

収益的収入（21億7,077万円）



収益的支出（22億844万円）



### 3 資本的収支・・・建設改良費とその財源

区分	R6年度決算 ①	R6年度予算 ②	(単位：千円) 差引①-②
資本的収入 (C) ※1	1,345,252	1,658,000	△312,748
資本的支出 (D) ※2	1,869,472	2,193,000	△323,528
差引 (C)-(D)	△524,220	△535,000	10,780

※ 1 企業債（建設改良費等に充てる借入金）の借入や  
出資金（一般会計からの繰入金）など

※ 2 建設改良費や企業債の償還金など

#### 【資本的収支】

収支は5億2,422万円の赤字となるが、予算対比では1,078万円の赤字減少。

#### ○資本的収入

企業債の借入額等の減により、収入は予算対比で3億1,275万円減少した。

#### ○資本的支出

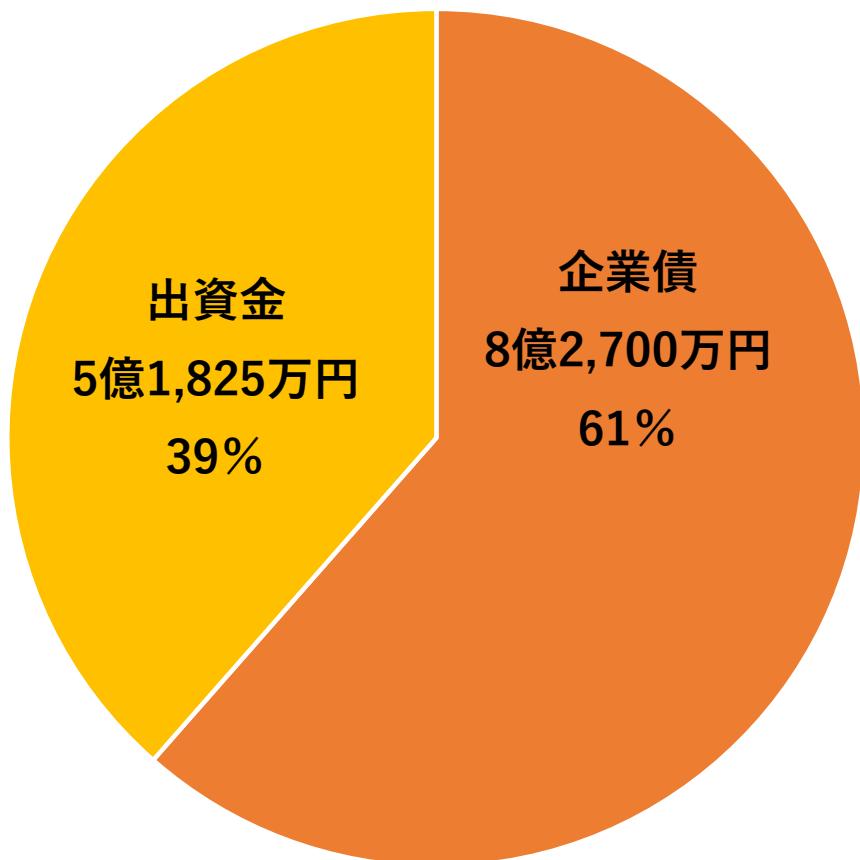
建設改良費の執行減により、支出は予算対比で3億2,353万円減少した。

#### ○主な建設改良費の内容

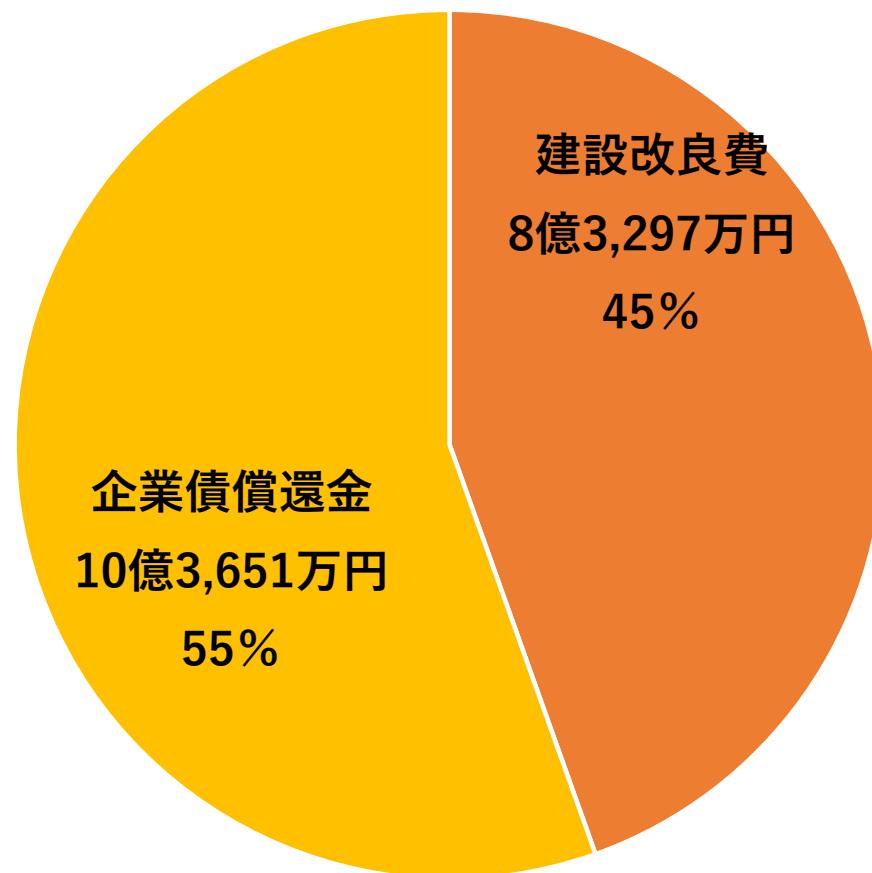
- ・水産保冷配送センターほか受変電設備改修
- ・青果棟屋上防水改修
- ・立体駐車場デッキスラブ改修
- ・水産保冷配送センター垂直搬送機更新 など

### 3 資本的収支・・・建設改良費とその財源

資本的収入（13億4,525万円）



資本的支出（18億6,947万円）



# 4 資金の状況

(単位：千円)

区分	R 6年度決算①	R 6年度予算②	差引①－②
収益的収支	△37,672	10,000	△47,672
資本的収支	△524,220	△535,000	10,780
当年度損益勘定留保資金等 ※1	717,983	654,710	63,273
当年度収支差引 (E) ※2	156,091	129,710	26,381
過年度分内部留保資金 (F) ※3	1,466,714	1,466,931	△217
資金残 (E)+(F) ※2	1,622,805	1,596,641	26,164

※ 1 減価償却費や賞与引当金といった現金の支出を必要としない費用で、企業内部に留保される資金

※ 2 千円以下四捨五入により、差引額が一致しない場合あり

※ 3 過年度から繰り越された資金

## 【資金残】

資金は1億5,609万円増加して16億2,281万円となり、予算対比で2,616万円の好転。

# 5 業務量

(単位 量：トン、額：千円)

区分	R6年度決算 (A)	R6年度予算 (B)	予算対比	
			増減 (A)-(B)=(C)	増減率(%) (C)／(B)
取扱量	水産物	62,819	68,643	△5,824 △8.5
	青果物	201,287	227,835	△26,548 △11.7
	計	264,106	296,478	△32,372 △10.9
取扱額	水産物	92,736,191	97,548,000	△4,811,809 △4.9
	青果物	61,856,447	57,613,000	4,243,447 7.4
	計	154,592,638	155,161,000	△568,362 △0.4
売上高割使用料	水産物	236,132	248,385	△12,253 △4.9
	青果物	157,501	146,699	10,802 7.4
	計	393,633	395,084	△1,451 △0.4

## 【水産物】

不漁のため、「冷白さけ」や「塩秋さけ」等が減少したことから、取扱量において8.5%、取扱額において4.9%のそれぞれ減少。それに伴い、売上高割使用料についても4.9%の減少。

## 【青果物】

天候不順や生産量の減少のため、「たまねぎ」、「みかん」等の入荷が減少し、取扱量において11.7%の減少。単価高により、取扱額において7.4%の増加。それに伴い、売上高割使用料についても7.4%の増加。

端数の関係上、合計は一致しないことがあります。